

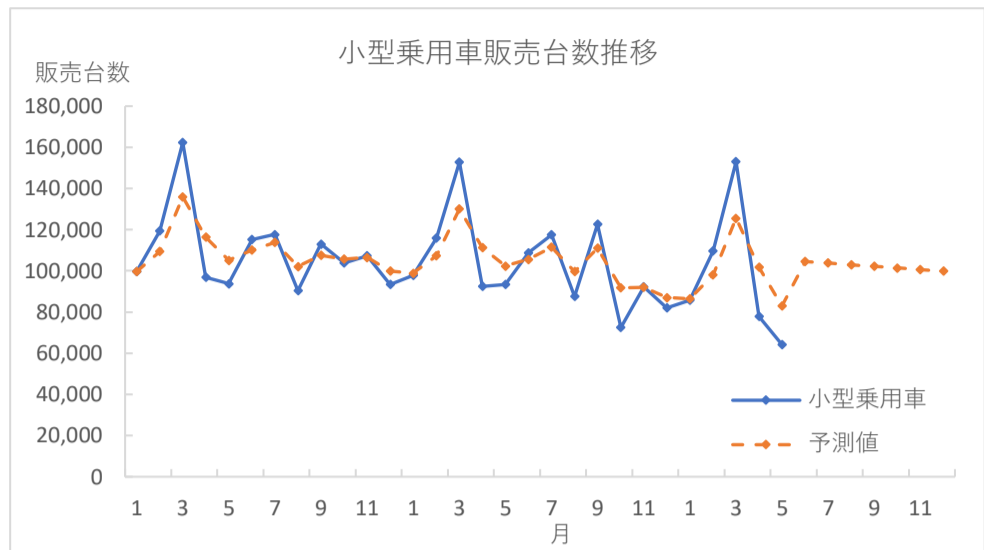
演習課題4\_回答

2020年6月~12月の需要予測を行ってみましょう。

- ①「演習課題4\_問題」のシートの中のどの項目を使用したのか
- ②過去の推移にはどのような特徴があって、そのためにどのような需要予測をしようと考えたのか
- ③分析結果と考察

について、表やグラフを使い丁寧に説明してみましょう。

年	月	小型乗用車	予測値	(平滑化定数=0.5)
2018	1	99,685	99,685	
	2	119,303	109,494	
	3	162,341	135,918	
	4	96,937	116,427	
	5	93,761	105,094	
	6	115,121	110,108	
	7	117,658	113,883	
	8	90,324	102,103	
	9	112,984	107,544	
	10	103,884	105,714	
	11	107,277	106,495	
	12	93,351	99,923	
2019	1	97,725	98,824	
	2	115,843	107,334	
	3	152,875	130,104	
	4	92,407	111,256	
	5	93,420	102,338	
	6	108,808	105,573	
	7	117,585	111,579	
	8	87,575	99,577	
	9	122,576	111,076	
	10	72,515	91,796	
	11	92,191	91,993	
	12	82,024	87,009	
2020	1	85,770	86,389	
	2	109,555	97,972	
	3	153,125	125,549	
	4	77,903	101,726	
	5	64,132	82,929	
	6		104,618	
	7		103,805	
	8		102,998	
	9		102,197	
	10		101,402	
	11		100,614	
	12		99,832	



- ①小型乗用車の項目を使用
- ②小型乗用車の販売台数は、年の初めの方に大きく伸びる時期があり、そしてその後は小さな波が繰り返されていることが表やグラフから分かる。そのため、指数平滑法を使い予測をたてた。指数平滑法では自分で実測値と予測値のどちらを重要とするか平滑化定数という形で決められ、またその平滑化定数の値が大きいくほど新しい状態への応答性が良いとされているため、コロナウイルスにより色々な活動が制限されている今に丁度良いのではないかと考えた。
- ③すべての予測値を出したが、2020年の5月までの既に販売台数が分かっているところの予測値は他の予測方法より台数の変動が上手く表れていると思う。2018年・2019年6月の販売台数は10万強である。2020年6月の予測値も同じく10万強となったが、経済状況が大きく変わっているためここまで伸びないと思われる。だが、近頃外出に関する規制が緩和されてきているので、夏や冬の長期休暇に向けて新車を購入しようとする人が増えてもおかしくはないので、ある程度多